

令和5年度 港区政策評価シート

1 政策名・所管部門

政策No	2	政策名	世界に開かれた先駆的で活力あるまちの基盤を整備する
所管部	街づくり支援部		関係部

2 政策のめざす方向性

道路、歩道、橋りょう等の整備や電線類地中化を推進し、バリアフリーに配慮した安全で快適な歩行空間や円滑な交通の確保、緑のネットワークや良好な景観の形成、防災機能の向上を図ります。区民等の憩いや交流を生み、緑化や防災の拠点となる公園、児童遊園等の整備を推進します。また、市街地再開発事業等の諸制度を活用し、誰もが安全で快適に利用でき、多くの外国人が住み大使館や国際的な企業が集積する港区の地域特性に配慮した、世界に開かれた先駆的で活力あるまちの基盤を整備します。

SDGsとの関係									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

3 成果指標【政策について満足している区民の割合】

指標の推移		目標値		達成度 ※	※評価方法 A：中間目標値に到達しており、計画目標を達成できる可能性がある。 B：中間目標値に到達していないが、計画目標を達成できる可能性がある。 C：中間目標値に到達せず、かつ、現状値（令和元年度）も下回っているが、計画目標を達成できる可能性がある。 D：中間目標値に到達しているが、計画目標を達成できる可能性がない。 E：中間目標値を下回っており、計画目標を達成できる可能性がない。
現状値	実績	中間目標値	計画目標値		
令和元年度	令和4年度	令和4年度	令和8年度末		
37.1%	54.3%	40.1%	44.5%	A	

これまでの取組と成果
公園等の整備時に、区民参加のワークショップを開催し、計画や設計に意見を反映することで、順調に整備を進めており、さらに六本木児童遊園内の公衆便所の整備を新規に令和5年度実施することにつながりました。指標の推移の令和4年度実績が、中間目標値、計画目標値を上回っています。

課題と今後の方向性
※未達成の場合は原因分析を含む
区民アンケートを実施し、区民の意見を反映した整備を進めることで成果を得ているため、今後も実施していきます。指標の推移については、事業の計画の延期などがあるため、今後の変化の見定めが重要となります。このため、工事の早期発注を実施していくとともに、調査設計等を十分に行い、埋設状況等を把握し、工期延伸が生じないように留意していきます。

4 施策の取組状況【施策評価結果】（詳細は別紙「施策評価シート」）

No	施策名	成果指標	施策評価
①	安全で安心に移動できる道路の整備	区道における電線類地中化率	B
		橋りょうの架替え及び改良（耐震補強）工事の整備率	
②	都心機能を支え人にやさしい公園の整備	利用者アンケートによる整備前後の満足度	A
③	安全で快適に利用できる公共施設の整備	「だれでもトイレ」の整備率	A
		大規模開発等により整備された緑地の箇所数	
④	市街地再開発事業等諸制度の活用と支援	密集した老朽建築物が更新され、防災機能や安全性が向上した面積	E
⑤			
⑥			

5 予算額・決算額・執行率（単位：千円）			
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算額	13,864,733	12,185,451	11,849,275
流用・補正	-1,079,774	-727,360	-
決算額	12,395,147	11,058,392	-
執行率	96.95%	95.41%	-

6 政策を取り巻く社会経済情勢等

<p>計画期間中の社会経済状況等の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会経済状況、人口動向、財政状況、国や東京都等の動向など 	<p>橋りょうの整備等については、PCB含有の塗膜が検出されたため除去工事を先行し、また、コロナの影響や原材料の値上がり等による工事の契約不調となるケースがありました。</p> <p>このため円滑な交通の確保等防災機能の向上を図るため、技術革新に合わせ耐震補強の再検討を実施する必要があります。</p>
<p>区民ニーズ等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民意識調査 ・区民から寄せられた意見など 	<p>令和2年度に整備を行った本村公園及び令和3年度に整備を行った西町つなぐ児童遊園について利用者に満足度調査を実施し、満足度は100%となりました。また、ワークショップ等の開催により区民からの意見に基づき六本木三丁目公衆便所の設計及び整備工事を令和5年度に新たに実施します。</p>

7 所管課による評価【一次評価】

<p>政策の達成状況</p>	<p>橋りょうの整備については、PCB含有の塗膜が検出されたため除去工事を先行、このため架け替え工事等については延期することとなり、中間目標値の達成は困難となっています。</p> <p>一方で、緑化や防災の拠点となる公園、児童遊園等は、それぞれ整備し、公園等の利用者に満足度調査を実施し、おおむね満足度は100%となりました。政策全体としては、現時点で達成しています。</p>
<p>達成状況の要因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策の有効性が高かった点 ・施策の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点など 	<p>施策1の①電線類地中化については、工事の契約不調や輻輳する埋設管の状況から工期を見直しました。</p> <p>施策1の②橋りょう等については、PCB含有の塗膜が検出されたため除去工事を先行する必要があります。計画を延伸しています。</p> <p>施策2の公園、児童遊園等については、満足度を指標にすることにより区民アンケートを実施、区民の意見を反映した整備を進めることで成果を得ています。</p>
<p>課題と今後の方向性</p>	<p>道路、歩道、橋りょう等の整備は耐震補強の再検討を実施し、工事の早期発注をしていくとともに、調査設計等を十分に行い、埋設状況等を把握し、工期延伸が生じないように留意していきます。緑化や防災の拠点となる公園、児童遊園等の整備は基本計画に沿って順次実施しますが、区民要望のある公園児童遊園等の整備を適宜、公共施設マネジメント計画に追加していきます。また、市街地再開発事業等の諸制度活用への支援は、市街地再開発事業、土地区画整理事業とも引き続き事業者等と調整を図り、地域特性に応じたまちづくりを推進します。</p>


8 港区行政評価委員会による評価【二次評価】

<p>評価※</p>	<p>C：政策目的を達成するために改善が必要である。</p>
<p>政策の達成度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・政策に対する区民満足度は中間目標値を達成しているものの、電線類地中化や橋りょうの架け替え等工事については達成度が低く、技術的課題に起因することから区民が成果を実感しにくいことに留意すべきです。 ・市街地再開発事業等によるまちづくりについては、事業者による取組の影響が大きく、区の取組を評価することの難しさがあります。 ・公園整備については、子どもだけでなく多くの人が利用していることから、直接的に区民の幸福度の向上につながっていると評価できます。
<p>今後の政策の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重点的に取り組むべき施策など 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路や橋りょう等の整備に当たっては、物価高騰や建設業の担い手不足などの影響を受けつつも、早期発注で対応するなど、遅れることがないように取組を進める必要があります。 ・市街地再開発事業等については、区と関係機関、事業者の役割を明確にした上で、区が主体的に実施すべき取組を着実に進めていく必要があります。 ・公園整備については、早い段階から区民に参画を求めることで、施策の効果を高めていく必要があります。 ・公衆便所の整備に当たっては、いわゆる「LGBT理解増進法」の施行を踏まえ、利用者に配慮した整備を進めていく必要があります。

※評価の目安

政策評価	施策評価 (最も低い施策の評価で判断)	政策の成果指標の達成度
A：政策目的を十分に達成できる。		A
B：政策目的をおおむね達成できる。		C以上
C：政策目的を達成するために改善が必要である。		上記以外

施策評価シート

政策No	2	政策名	世界に開かれた先駆的で活力あるまちの基盤を整備する		
施策No	1	施策名	安全で安心して移動できる道路の整備		
目標・期待する成果	都市防災機能の強化や安全・安心で快適な歩行空間の創出などを図るため、電線類地中化を推進するとともに、バリアフリーに配慮した、誰もが安全で安心して移動できる道路の整備を推進します。安全で円滑な道路交通を確保するとともに災害時の避難路を確保するため、橋りょうの架替え工事や耐震補強工事を計画的に推進します。				
SDGsのゴールとの関係					
施策担当課	土木課		関係課	地域交通課	
担当者名	石塚	内線	2217		

1 成果指標の達成度

成果指標①	指標の推移				目標値	
	現状値	実績		見込値	中間目標値	計画目標値
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和8年度末
区道における電線類地中化率	23.0%	23.0%	23.0%	23.1%	23.6%	24.4%
	達成度	当該年度の取組と成果		課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和3年度	b	工事の不調や輻輳する埋設管の状況から工期を見直しました。		工事発注時の契約不調を防ぐため、早期発注を実施していきます。		
令和4年度	b	補助7号線（桜田通り区間）は修正設計、三田一丁目は詳細設計を実施しました。六本木二丁目、六本木七丁目及び赤坂六丁目は本体工事を実施しました。		工事発注時の契約不調を防ぐため、早期発注を実施していくとともに、調査設計等を十分に行い、埋設状況等を把握し工期延伸が生じないように留意していきます。		
令和5年度	c	虎ノ門一丁目（78m）、芝浦三丁目（303m）の電線共同溝整備が完了します。六本木二丁目、六本木七丁目は引込連系管工事に着手する予定です。東麻布二丁目は支障移設工事を実施します。		/		

a：予定どおり中間目標値に到達する見込みである。 b：予定どおりの成果が出ていないが、改善により中間目標値に到達する見込みである。
c：中間目標値に到達する可能性がない。 -：指標値を把握できない。

成果指標②	指標の推移				目標値	
	現状値	実績		見込値	中間目標値	計画目標値
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和8年度末
橋りょうの架替え及び改良（耐震補強）工事の整備率	80.6%	80.6%	80.6%	80.6%	87.0%	93.5%
	達成度	当該年度の取組と成果		課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和3年度	b	五之橋は既存橋りょうの撤去をしました。新芝浦橋は、仮歩道橋設置が完了し、新橋の下部工に着手しています。新浜橋は、3つある橋脚の内、2つの橋脚の耐震補強工事を実施しました。芝浦橋は修正設計をしました。		新浜橋は、引き続き令和4年度に残りの橋脚1つの耐震補強工事を予定しています。芝浦橋は鉄道橋との併用橋であるので、JR東海及びJR東日本との合意のもと、架替えを進めていきます。		
令和4年度	c	新浜橋の耐震補強については、1橋脚を残し、掘削に伴う出水により土留めの崩壊の危険性が生じたため工事を中止としました。		前年度と合わせて落橋防止は施工済みで安全性の確保はされているため、今後の本橋りょうの架け替えや技術革新に合わせ耐震補強の再検討を実施します。		
令和5年度	c	香取橋及び芝浦橋について、PCB含有塗膜が検出されたため、その除去工事を先行するため、橋りょう工事は延伸しました。				

a：予定どおり中間目標値に到達する見込みである。 b：予定どおりの成果が出ていないが、改善により中間目標値に到達する見込みである。
c：中間目標値に到達する可能性がない。 -：指標値を把握できない。

2 施策評価

評価	B：中間目標値に到達しないが、計画目標値の達成可能性がある。
施策の達成状況	施策の評価は、成果指標①及び②ともに、中間目標値に達成できませんが、令和2年度の現状値と比べ、令和5年度見込値は同等もしくは上回っているため、Bとしました。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	成果指標①「区道における電線類地中化率」について工事の不調や輻輳する埋設管の状況から工期を見直しました。 成果指標②「橋りょうの架替え及び改良（耐震補強）工事の整備率」について、外部要因であるPCB含有の塗膜が検出されたため、除去工事を先行することとなり、工事を延伸しました。
課題と今後の方向性	工事発注時の契約不調を防ぐため、早期発注を実施していきます。

A：中間目標値に到達し、計画目標値の達成可能性がある。
B：中間目標値に到達しないが、計画目標値の達成可能性がある。
C：中間目標値に到達せず、かつ、現状値（令和2年度）も下回るが、計画目標値の達成可能性がある。
D：中間目標値に到達するが、計画目標値の達成可能性がない。
E：中間目標値を下回り、計画目標値の達成可能性がない。

施策評価シート

政策No	2	政策名	世界に開かれた先駆的で活力あるまちの基盤を整備する		
施策No	2	施策名	都心機能を支え人にやさしい公園の整備		
目標・期待する成果	港区固有の自然や歴史を保全しつつ、個性ある都市景観の創造に資するとともに、都市環境負荷の軽減や防災性の向上につなげます。また、港区に暮らす人、働く人にとって、やすらげる場所となるとともに、レクリエーション利用を通じて人々が集う場となり、暮らしに潤いを与える空間となるよう公園整備を進めます。				
SDGsのゴールとの関係					
施策担当課	土木課		関係課		
担当者名	小酒	内線	2218		

1 成果指標の達成度

成果指標①	指標の推移				目標値	
	現状値	実績		見込値	中間目標値	計画目標値
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和8年度末
利用者アンケートによる整備前後の満足度	80%以上	100%	100%	80%以上	80%以上	80%以上
	達成度	当該年度の取組と成果		課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和3年度	a	令和3年9月に（仮称）高輪三丁目児童遊園整備工事着手後、同年12月27日に「西町つなぐ児童遊園」として供用開始しました。令和2年度に整備を行った本村公園について利用者に満足度調査を実施し、満足度は100%となりました。		一の橋公園は、令和4年度に水景施設や複合遊具等を設置し、令和4年度中のしゅん工を目指します。区民の意見を反映した整備を進め、引き続き、満足度80%以上を目指します。		
令和4年度	a	一の橋公園は、令和3年10月に工事着手し、令和4年度は水景施設や複合遊具等を設置しました。令和3年度に整備を行った西町つなぐ児童遊園について利用者に満足度調査を実施し、満足度は100%となりました。		一の橋公園は、他工事の影響により工期を令和5年6月に延伸しました。工期延伸に係る契約変更を行いました。区民の意見を反映した整備を進め、引き続き、満足度80%以上を目指します。		
令和5年度	a	芝五丁目児童遊園、西麻布二丁目児童遊園の設計委託を行います。六本木三丁目児童遊園の設計及び工事を行います。		/		

a：予定どおり中間目標値に到達する見込みである。 b：予定どおりの成果が出ていないが、改善により中間目標値に到達する見込みである。
c：中間目標値に到達する可能性がない。 -：指標値を把握できない。

成果指標②	指標の推移				目標値	
	現状値	実績		見込値	中間目標値	計画目標値
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和8年度末

	達成度	当該年度の取組と成果	課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			


a：予定どおり中間目標値に到達する見込みである。 b：予定どおりの成果が出ていないが、改善により中間目標値に到達する見込みである。
c：中間目標値に到達する可能性がない。 -：指標値を把握できない。

2 施策評価

評価	A：中間目標値に到達し、計画目標値の達成可能性がある。
施策の達成状況	公園等の整備後の利用者アンケートにおいて、満足度80%以上となっており、今後も区民の意見を反映した整備を行う予定のため、施策の評価はAとしました。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	成果指標①「利用者アンケートによる整備前後の満足度」による調査結果、「満足」「やや満足」の合計値で示す満足度は100%となりました。公園等の整備時に、区民参加のワークショップを開催、計画や設計に意見を反映することで、大きな成果を得られました。
課題と今後の方向性	地域のあらゆる主体が協力して、公園等をより楽しく、まちのにぎわいを生み出す拠点としていくため、整備段階から区民協働を進め、公園の管理・運営活動、公園の活用への多様な主体の参画を進めます。

A：中間目標値に到達し、計画目標値の達成可能性がある。
B：中間目標値に到達しないが、計画目標値の達成可能性がある。
C：中間目標値に到達せず、かつ、現状値（令和2年度）も下回るが、計画目標値の達成可能性がある。
D：中間目標値に到達するが、計画目標値の達成可能性がない。
E：中間目標値を下回り、計画目標値の達成可能性がない。

施策評価シート

政策No	2	政策名	世界に開かれた先駆的で活力あるまちの基盤を整備する		
施策No	3	施策名	安全で快適に利用できる公共施設の整備		
目標・期待する成果	子どもから大人まで誰もが安全で快適に利用できる空間とするため、バリアフリーやユニバーサルデザインの考え方を踏まえた施設整備を進めます。また、緑量を増やし、潤いある生活環境をつくるため、小広場（緑地）の整備を進めます。				
SDGsのゴールとの関係					
施策担当課	土木課		関係課		
担当者名	小酒	内線	2218		

1 成果指標の達成度

成果指標①	指標の推移				目標値	
	現状値	実績		見込値	中間目標値	計画目標値
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和8年度末
「だれでもトイレ」の整備率	72.4%	72.7%	72.7%	73.5%	73.5%	75.8%

	達成度	当該年度の取組と成果	課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)
令和3年度	a	西町つなぐ児童遊園の整備に合わせ、だれでもトイレの新設整備を実施しました。	東京都福祉のまちづくり条例施行規則の改正に合わせ、「だれでもトイレ」の新たな呼び名称やトイレ全体での機能配分について、今後の整備内容に反映していきます。
令和4年度	a	一ノ橋際公衆便所の外壁や内壁等の工事を実施しました。整備前後で車椅子使用者用便房（だれでもトイレ）の増減はありません。	令和4年度に策定した「港区ならではの清潔できれいな公衆便所のあり方」に基づき、今後の整備内容に反映していきます。
令和5年度	a	有栖川宮記念公園の便所に係る工事、西麻布二丁目児童遊園の便所及び新芝橋際公衆便所の設計、六本木三丁目公衆便所の設計及び整備工事を行います。	/

a：予定どおり中間目標値に到達する見込みである。 b：予定どおりの成果が出ていないが、改善により中間目標値に到達する見込みである。
c：中間目標値に到達する可能性がない。 -：指標値を把握できない。

成果指標②	指標の推移				目標値	
	現状値	実績		見込値	中間目標値	計画目標値
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和8年度末
大規模開発等により整備された緑地の箇所数	25か所	27か所	27か所	28か所	28か所	29か所
	達成度	当該年度の取組と成果		課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和3年度	a	再開発事業に伴い、西新橋一丁目緑地と愛宕一丁目緑地の2か所を開設しました。		再開発事業の進捗等によって緑地の開設時期が遅れる可能性があります。引き続き、事業者に適切な指導・誘導を進めていきます。		
令和4年度	a	再開発事業に伴う緑地の開設についての協議がなかったため、新たな緑地の整備は行っていません。		再開発事業の進捗等によって緑地の開設時期が遅れる可能性があります。引き続き、事業者に適切な指導・誘導を進めていきます。		
令和5年度	a	再開発事業に伴い、麻布台一丁目緑地の開設に向け協議中です。				

a：予定どおり中間目標値に到達する見込みである。 b：予定どおりの成果が出ていないが、改善により中間目標値に到達する見込みである。
c：中間目標値に到達する可能性がない。 -：指標値を把握できない。

2 施策評価

評価	A：中間目標値に到達し、計画目標値の達成可能性がある。
施策の達成状況	有栖川記念公園の便所工事によりだれでもトイレが整備されるとともに、再開発に伴う協議により緑地整備が見込まれることから、施策評価は成果指標①及び②ともに、計画目標値を達成する見込みのためAとしました。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	成果指標①「だれでもトイレ」の整備率」及び成果指標②「大規模開発等により整備された緑地の箇所数」は計画どおり進んでおり、新設、改修のタイミングで整備したことで、成果を得られました。 また、再開発事業の事業者に適切な指導・誘導を進めることで成果を得られました。
課題と今後の方向性	車椅子使用者用便房等については、バリアフリーやユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、「港区ならではの清潔で美しい公衆便所のあり方」に基づき、今後、設計の段階から車椅子使用者便房等の整備を検討していきます。なお、再開発事業の進捗等によって緑地の開設時期が遅れる可能性があることから、引き続き、事業者に適切な指導・誘導を進めていきます。

A：中間目標値に到達し、計画目標値の達成可能性がある。
B：中間目標値に到達しないが、計画目標値の達成可能性がある。
C：中間目標値に到達せず、かつ、現状値（令和2年度）も下回るが、計画目標値の達成可能性がある。
D：中間目標値に到達するが、計画目標値の達成可能性がない。
E：中間目標値を下回り、計画目標値の達成可能性がない。

施策評価シート

政策No	2	政策名	世界に開かれた先駆的で活力あるまちの基盤を整備する		
施策No	4	施策名	市街地再開発事業等諸制度の活用と支援		
目標・期待する成果	市街地再開発事業や土地区画整理事業等により、道路、公園などの公共施設や交通基盤を整備・拡充するとともに、地域に求められる都市機能の導入を誘導することで、住環境や利便性、防災機能の向上を図り、地域特性に応じたきめ細かなまちづくりを推進します。				
SDGsのゴールとの関係					
施策担当課	再開発担当		関係課	品川駅周辺街づくり担当	
担当者名	野並	内線	2246		

1 成果指標の達成度

成果指標①	指標の推移				目標値	
	現状値	実績		見込値	中間目標値	計画目標値
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和8年度末
密集した老朽建築物が更新され、防災機能や安全性が向上した面積	73.6ha	74.8ha	107.9ha	107.9ha	125.8ha	138.5ha
	達成度	当該年度の取組と成果		課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和3年度	b	令和3年度は新橋田村町地区が工事完了しています。		市街地再開発事業、土地区画整理事業とも引き続き事業者等と調整を図り、円滑な事業推進に留意し、地域特性に応じたきめ細かなまちづくりを推進します。		
令和4年度	c	令和4年度は白金一丁目東部北地区が工事完了、汐留地区、愛宕山周辺地区が事業完了しています。		事業の深度化や工事の施工調整により、事業完了年度が令和6年度以降に変更された地区が複数あります。市街地再開発事業、土地区画整理事業とも引き続き事業者等と調整を図り、円滑な事業推進に留意し、地域特性に応じたきめ細かなまちづくりを推進します。		
令和5年度	c	市街地再開発事業、土地区画整理事業とも引き続き事業者等と調整を図り、円滑な事業推進に留意します。		-		

a : 予定どおり中間目標値に到達する見込みである。 b : 予定どおりの成果が出ていないが、改善により中間目標値に到達する見込みである。
c : 中間目標値に到達する可能性がない。 - : 指標値を把握できない。

成果指標②	指標の推移				目標値	
	現状値	実績		見込値	中間目標値	計画目標値
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和8年度末

	達成度	当該年度の取組と成果	課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			

a：予定どおり中間目標値に到達する見込みである。 b：予定どおりの成果が出ていないが、改善により中間目標値に到達する見込みである。
c：中間目標値に到達する可能性がない。 -：指標値を把握できない。

2 施策評価

評価	E：中間目標値を下回り、計画目標値の達成可能性がない。
施策の達成状況	事業の深度化や工事の施工調整により、事業完了年度が令和6年度以降に変更された地区が複数あります。施策の評価は、計画目標値を達成する可能性がないため、Eとしました。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	成果指標①「密集した老朽建築物が更新され、防災機能や安全性が向上した面積」について、事業の深度化に合わせ、より詳細なスケジュールの検討が進んだことや、施工調整により工事スケジュールに変更が生じたことが要因となり、予定されていた成果が得られませんでした。
課題と今後の方向性	市街地再開発事業、土地区画整理事業とも引き続き事業者等と調整を図り、円滑な事業推進に留意し、地域特性に応じたきめ細かなまちづくりを推進します。

A：中間目標値に到達し、計画目標値の達成可能性がある。
B：中間目標値に到達しないが、計画目標値の達成可能性がある。
C：中間目標値に到達せず、かつ、現状値（令和2年度）も下回るが、計画目標値の達成可能性がある。
D：中間目標値に到達するが、計画目標値の達成可能性がない。
E：中間目標値を下回り、計画目標値の達成可能性がない。